

評価 (A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

達成度 (A:目標達成, B:進展は有り, C:一部は進展有り, D:進展なし)

NO	項目	番号	1学期					Action (改善策)	2学期					比較	達成度	CHECK (成果と課題)	PLAN (次年度目標設定)
			A	B	C	D	評定		A	B	C	D	評定				
1	教育課程・学習指導	①	5	3	0	0	A	日程の変更等をミライムを活用し、報告を行った	5	3	1	0	B	-0.2	A	行事が忙しくなる、授業計画の見通しがうまく立てられない職員がいた	週案の提出から計画的な指導計画を意識させる
		②	4	3	1	0	B	ICTの活用と学推教師、支援員との連携強化	3	6	0	0	B	-0.1	B	個々の児童のきめ細かな対応が必要	学推教師との連携の強化やICTの活用促進
		③	3	5	0	0	B	終礼等で週案提出の重要性を呼びかけていく。	3	4	2	0	C	-0.3	B	週案での学級対応コメントが定着してきている	週案コメントの徹底を呼びかける
		④	4	4	0	0	A	校内研主任と連携し、指導と評価の一体化の研修を設ける。	2	7	0	0	B	-0.3	B	指導と評価の一体化に自信の無い職員がいる	校内研修等で指導と評価の一体化の充実をはかる
		⑤	4	4	0	0	A	校内巡視を通して、気になる点は、都度声かけを行う。	2	7	0	0	B	-0.3	B	児童の整理整頓に課題が残る	児童・教師を含めた学習環境作りを目指す
2	生徒指導	①	4	4	0	0	A	気になる子や行動は、常に担任会等で話し合う。	4	5	0	0	B	-0.1	A	情報の共有を図り、連携して対応することができた	SC SSWとの連携を強化する
		②	6	2	0	0	A	町のいじめアンケートに統一し、煩雑化を解消	6	3	0	0	A	-0.2	A	早期発見に努め、適時対応することができた	いじめを許さない学校風土づくりを継続して行う
		③	3	5	0	0	B	終礼後の担任会で、小さな気づきも共有する。	6	3	0	0	A	0.2	A	連携体制の強化により迅速な対応ができた	連携体制の維持と職員の児童理解を深める
		④	3	5	0	0	B	電話連絡、学校メール機能の活用促進を図る。	6	2	1	0	A	0.1	A	コロナ禍のため家庭・地域からの協力が得にくい。	家庭・地域との連携を密にし、協力をあおぐ
		⑤	4	4	0	0	A	児童のよい点を担任以外にも積極的に共有する	4	5	0	0	B	-0.1	A	担任以外からも声かけするなど、自己肯定感の向上に取り組むことができた	終礼、担任会をはじめ、全職員で児童を育てるの体制維持
3	キャリア教育 (進路指導)	①	4	4	0	0	A	キャリア教育の位置づけの確認を全職員で行う。	6	3	0	0	A	0.1	A	地域人材の活用が図られてきた	町の魅力化スタッフとも連携し、キャリア教育を充実させる
		②	4	4	0	0	A	朝の活動時間を利用して、企業人講話をお願いする。	5	4	0	0	A	-	A	継続した地域人材の活用ができています	地域人材の活用を推進する
		③	4	4	0	0	A	学推教師と連携し、夢ファイルの掲示を行った。	3	6	0	0	B	-0.2	B	夢ファイル活用や企業人講話により児童の意識を高めている	夢ファイルの定着と改善をはかる
		④															
		⑤															
4	安全管理	①	6	2	0	0	3.8	防災訓練後の反省からの見直しを図る。	6	3	0	0	3.7	-0.1	A	適切に行われている。	防災訓練を行い、その反省から防災対策の見直しを
		②	5	3	0	0	3.6	会議等で危機管理マニュアルの説明をする。	6	3	0	0	3.7	0.0	A	適宜、安全対策マニュアルとの整合性を確認できた	適宜、安全対策マニュアルの確認・訂正を行う。
		③	5	2	1	0	3.5	点検後の担当からの報告を確実にしているか確認する。	6	3	0	0	3.7	0.2	A	毎月の安全点検後の確認や連絡をミライムのアンケート機能を活用し、行った。	日頃の安全確認を適切に行い、情報の共有を図る。
		④	3	5	0	0	3.4	その都度、生徒指導主任とも連携し取り組んで	3	6	0	0	3.3	0.0	B	交通安全・交通マナーの指導を行い、適宜呼びかけ	家庭・地域とも連携した安全指導をはかる。
		⑤	4	4	0	0	3.5	安心・安全メールの活用を促進する。	3	6	0	0	3.3	-0.2	B	家庭・地域とも情報共有を図ることができた。	家庭・地域と連携して児童の安心・安全を推進する。
5	保健管理	①	7	1	0	0	3.9	職員会議を利用した健康相談体制の確認を行う	9	0	0	0	4.0	0.1	A	健康相談体制が整備されている。	学校保健計画の適宜見直しを図る。
		②	7	1	0	0	3.9	診断結果を各家庭に報告し、疾病処置を促す。	7	2	0	0	3.8	-0.1	A	ほけん便り等を通して周知できていた。	外部機関とも連携し、自己管理能力の向上を図る。
		③	5	3	0	0	3.6	コロナ禍ということもあり、徹底の強化を呼びか	5	4	0	0	3.6	-0.1	A	適宜声かけを行い、健康管理に努めた。	養護教諭と担任の連携を図り、健康管理能力の向上を図る。
		④	5	2	1	0	3.5	養護教諭と関係機関との事前打ち合わせの確認をする。	9	0	0	0	4.0	0.5	A	外部講師を活用し薬物乱用防止教室・命の教室を開催できた。	外部講師との連携を継続する。
		⑤	4	4	0	0	3.5	雲梯チャレンジとスロージョギングの声かけをす	4	5	0	0	3.4	-0.1	A	スロージョギングの工夫を図ることができた。	雲梯チャレンジ、スロージョギングの継続

1	教育課程・学習指導	指標課題は「順調」である		指標課題は、「概ね順調」である		指標課題は、「やや順調でない」		指標課題は、「順調でない」		合計	評定	所見及び備考
		人	0.0 (%)	4人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)			
2	キャリア教育(生徒指導)	4人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	4人	4.0	一周道路の安全な通行を地域を含めて気をつけてほしい。
3	進路指導	4人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	4人	4.0	
4	安全管理	4人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	4人	4.0	
5	保健管理	4人	100.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	人	0.0 (%)	4人	4.0	

令和4年度

本部町立学校自己評価・関係者評価の報告書

学校自己評価

評価 (A:達成できた B:ほぼ達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

達成度 (A:目標達成, B:進展は有り, C:一部は進展有り, D:進展なし)

NO	項目	番号	1学期				Action (改善策)	2学期					比較	達成度	CHECK (成果と課題)	PLAN (次年度目標設定)	
			A	B	C	D		評定	A	B	C	D					評定
6	特別支援教育	①	4	4	0	0	3.5	毎月の特別支援委員会において、気になる児童の確認を行う。	4	5	0	0	3.4	-0.1	A	支援員との連携を図り、個々の児童の支援ができた。	限られた職員数での連携を図るための協力体制づく
		②	3	5	0	0	3.4	支援員や学推教師とも連携し、支援体制を強化	3	6	0	0	3.3	0.0	B	特別支援委員会を毎月開催し、連携を図ることができ	限られた職員数での連携を図るための協力体制づく
		③	4	3	1	0	3.4	コーディネーターが保護者確認のもと、SCやSSWとも連携している。	5	4	0	0	3.6	0.2	A	特別支援委員会、SC、SSWとも連携し、適時対応できた。	特別支援委員会を中心とした、関係機関の連携強化を図る。
		④															
		⑤															
7	教育目標・組織運営	①	4	4	0	0	3.5	校務分掌の1人化で、責任の所在を明らかにす	6	3	0	0	3.7	0.2	A	担当分掌によって、集中して煩雑になるときは、全体でフォローする。	校務分掌は1人でも協力し、組織的に学校運営を行う。
		②	6	2	0	0	3.8	年度当初の会議で個人情報の保護の徹底を呼びかける。	8	1	0	0	3.9	0.1	A	共有する情報、保護する情報の管理ができた。	共有数情報と個人情報の保護を徹底する。
		③	6	2	0	0	3.8	週一回の運営委員会、と月一回の企画委員会の徹底を図る。	5	4	0	0	3.6	-0.2	A	各行事担当による企画委員会への提案が少ない。	企画委員会を充実し、働き方改革を推進する。
		④	4	4	0	0	3.5	早めの連絡と声かけを意識する。	6	3	0	0	3.7	0.2	A	各行事を計画的に行うことができた。	実施評価・反省を生かした計画を作成する。
		⑤	6	2	0	0	3.8	ミライムも活用し、行動連携に努める。	7	2	0	0	3.8	0.0	A	行動連携・共通理解を深め、迅速に対応することができた。	職員連携を密にし、共同体制を推進する。
8	研修組織	①	4	4	0	0	3.5	校内研修で本校の課題を明確化し、共有した課題に全職員で取り組む。	6	3	0	0	3.7	0.2	A	ICTを活用した授業改善に取り組むことができた。	ICT活用を通して、さらなる授業改善に取り組む
		②	6	2	0	0	3.8	推進委員会で当初の研修計画を適宜見直ししながら計画を進める。	8	1	0	0	3.9	0.1	A	計画的に研修活動を行うことができた。	今年度の課題から次年度への見直しを図る。
		③	4	4	0	0	3.5	研修時の補充体制を組み、研修を促す。	4	5	0	0	3.4	-0.1	A	オンラインを利用した校外研修が定着した。	出張の多く校務分掌の見直しを図る。
		④															
		⑤															
9	住民との連携	①	5	3	0	0	3.6	各種便りや評議員会を通して、情報を発信する。	4	5	0	0	3.4	-0.2	A	コロナ禍ということもあり、一部の活動にとどまった。	地域・保護者との連携体制の強化を図る。
		②	5	3	0	0	3.6	学校評議員会、PTA評議員会や年2回のアンケートで意見を求める。	3	6	0	0	3.3	-0.3	A	学校評価をもとに改善を図っている。	地域・保護者から信頼される学校運営を推進する。
		③	5	3	0	0	3.6	校内の人材活用リストを活用し、積極的な活用を呼びかける。	3	6	0	0	3.3	-0.3	A	コロナ禍ではあったが、人材活用にも取り組むことができた。	地域教育資源の継続と掘り起こしを図る。
		④	6	2	0	0	3.8	メール機能を活用し、コンスタントな連絡を心がける。	5	4	0	0	3.6	-0.2	A	学校便り(電子化)、各学級便りで学校児童の様子を伝えることができた。	コンスタントな情報発信の継続をする。
		⑤	3	4	1	0	3.3	区長や保護者等から地域の諸活動の情報を共有する。	2	6	1	0	3.1	-0.1	B	コロナ禍により、地域行事の参加参加が少なかった。	職員と地域の連携を図っていく。
10	施設・設備	①	7	1	0	0	3.9	安全主任を中心に毎月の安全点検を行う。	7	2	0	0	3.8	-0.1	A	毎月の施設・設備点検が計画的に行われた。	各種点検を計画的に行い、安全な学校づくりを推進する。
		②	7	1	0	0	3.9	置き場所を整理整頓し、元の場所に戻すを徹底する。	6	3	0	0	3.7	-0.2	A	教材・教具の整理、保管が適切に行えた。	定期的な備品整理と点検を心がける。
		③	3	4	1	0	3.3	各長期休業を利用した、備品整備計画を実施する。	3	6	0	0	3.3	0.1	B	備品整備を計画的に進めることができた。	学期末等を利用した、廃棄作業や備品整理の徹底。
		④															
		⑤															

学校関係者評価

NO	項目	指標課題は「順調」である		指標課題は、「概ね順調」である		指標課題は、「やや順調でない」		指標課題は、「順調でない」		合計	評定	所見及び備考
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)			
6	特別支援教育	3人	75.0 (%)	1人	25.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	4人	3.8	コロナも落ち着けば、地域行事との連携も行っていきましょう。 体育館の屋根補修の早期着工を望む。
7	教育目標・組織運営	4人	100.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	4人	4.0	
8	研修組織	4人	100.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	4人	4.0	
9	保護者・地域住民との連携	4人	100.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	4人	4.0	
10	施設・設備	4人	100.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	0人	0.0 (%)	4人	4.0	